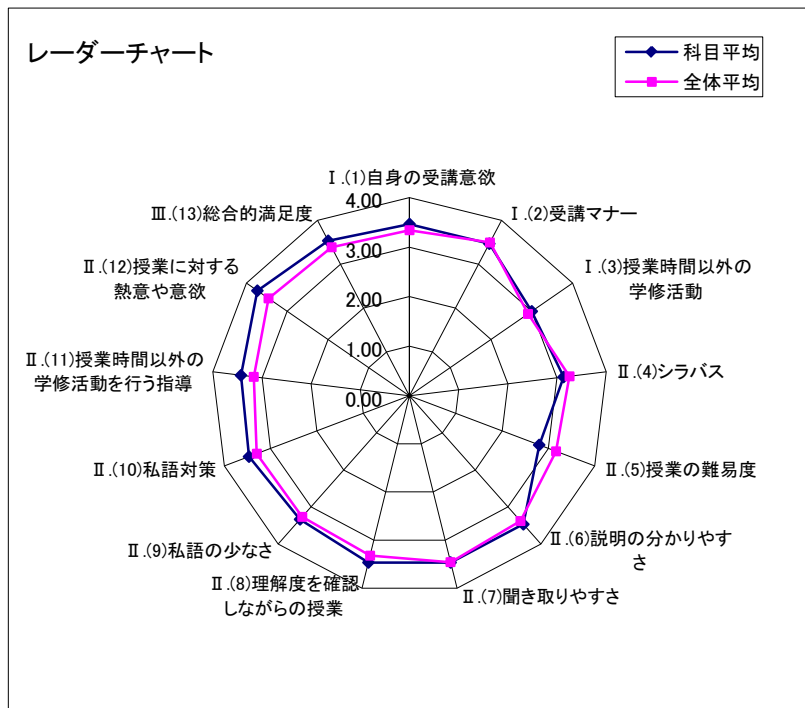
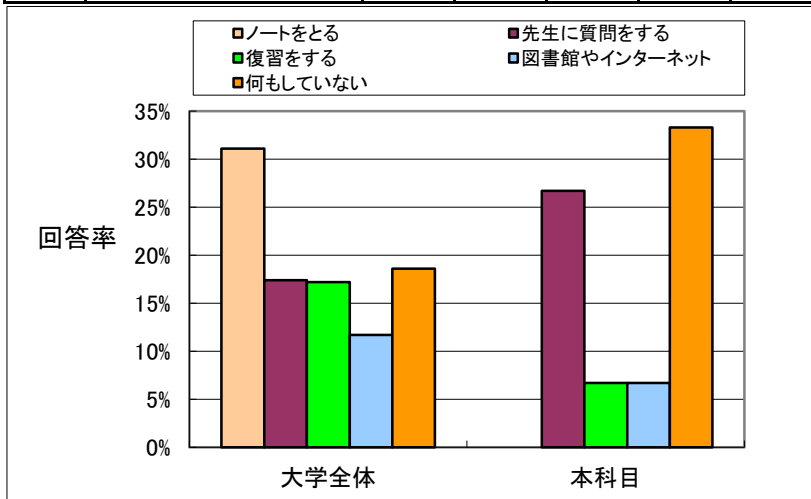


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.0	26.7	6.7	6.7	33.3



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.47	3.34
	I.(2)	3.47	3.49
	I.(3)	3.00	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.13	3.26
	II.(5)	2.80	3.16
	II.(6)	3.47	3.38
	II.(7)	3.47	3.46
	II.(8)	3.47	3.32
	II.(9)	3.33	3.27
	II.(10)	3.47	3.30
	II.(11)	3.43	3.17
	II.(12)	3.73	3.46
	総合評価	III.(13)	3.53

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.31	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.37	3.31
総合評価 III.(13)	3.53	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4204
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

ほぼ思っていたことができたように思われる。アンケート結果では授業の難易度とシラバスが全体平均を下回っているが、シラバスはこの科目を担当している教員間で共通のものであり、ある程度教員に裁量を与えられていたことからすれば致し方ないと思われる。難易度について、もやや難しく厳しく指導したことからすれば想定内のことであるといえる。

②授業の進め方について

共通の教科書に沿って、教科書を読ませ、各項目に対して解説などを行い、後半ではプレゼンテーションを行わせるなど、基礎力と実践力を鍛える方法をとった。公開授業参観票では、おおむね評価をいただいた。中には過分のおほめをいただいたところもあり、恐縮する次第である。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

レポート課題を課したり、プレゼンテーションをさせたりと、授業時間外の学習活動もさせたつもりであったが、アンケート結果では学生はそう感じていないようであり、もう少し課題を増やせばよかったと後悔している。学生にとっては非常に厳しい講義であったように思うが、総合評価が全体平均を上回っており、こちらの熱意は十分伝わったように思う。今後とも熱意をもってあたりたいと考える。